

国際  
セミナー

# 学びの多様性を包摂する インクルーシブ教育の再設計

## —すべての子どもの学びを支える授業と学校づくり—

すべての子どもが共に学ぶこれからの学校において、どのような授業や学校づくりが求められるのでしょうか。本セミナーでは、個別最適な学びと協働的な学びの両立や、多様な背景をもつ子どもへの支援をテーマに、インクルーシブ教育の実践を考えます。国内外の研究者とともに、明日からの教育に活かせる視点を共有します。

2026年 8月1日(土) 10:00~16:30 開場: 9:30

広島国際会議場 (広島県広島市中区中島町1-5) & オンライン

参加無料

手話通訳・要約筆記あり

日・英同時通訳

要申込

### 基調講演 Keynote Speaker

### 講演 Speaker

オンライン登壇

個別最適な学びと協働的学びを  
統合する多層的支援システム(MTSS)

リー・アン・ジャング

サンディエゴ州立大学・Lead Inclusion (アメリカ)

教師の専門性と  
インクルーシブ教育の実現  
～多様な学びを支える学校システム～

リム・ヘンフック・レヴァ

シンガポール国立教育研究所・南洋理工大学(シンガポール)

イタリアにおける  
フルインクルージョンの歩みから学ぶ  
～成果、葛藤、そして今後の展望～

ハイドルン・デモ

ポーツェン・ボルツァーノ自由大学(イタリア)

小・中・高等学校における  
特別支援教育の推進と教育課程編成

武富 博文

国立特別支援教育総合研究所(日本)

インクルーシブ教育システムの  
更なる推進に向けて  
～グローバルな課題に対する日本の視点～

川合 紀宗

広島大学(日本)

### パネルディスカッション Panel Discussion

「すべての子どもの学びを支える授業と学校づくり」



対面参加・オンライン参加(Zoom)

←申し込みはこちらから

※申込締切: 7月29日(水)正午

<https://forms.office.com/r/bhLAJ7XKMJ>

定員: 100名(会場)

お問合せ: [d-and-i-event@hiroshima-u.ac.jp](mailto:d-and-i-event@hiroshima-u.ac.jp)

(広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 マネジメント部門)

主催 | 広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構  
国立特別支援教育総合研究所

後援 | 文部科学省/広島県教育委員会/広島市教育委員会/東広島市教育委員会/NHK広島放送局/中国放送/広島テレビ/広島ホームテレビ/テレビ新広島/広島エフエム放送/中国新聞社/  
日本特殊教育学会/日本LD学会/ウェルビーイング学会(申請中)



広島大学



独立行政法人  
国立特別支援教育総合研究所  
National Institute of Special Needs Education

9:30-10:00 受付・開場

開会挨拶  
 広島大学 ダイバーシティ&インクルージョン推進機構長  
**島田 昌之**  
 国立特別支援教育総合研究所 理事長  
**青木 隆一**

趣旨説明  
 広島大学 ダイバーシティ&インクルージョン推進機構  
**川合 紀宗**

基調講演 1  
 オンライン登壇  
**リー・アン・ジャング**

基調講演 2  
**リム・ヘンフック・レヴァ**

基調講演 3  
**ハイドルン・デモ**

休憩  
 12:30-13:30

講演 1  
**武富 博文**

講演 2  
**川合 紀宗**

休憩  
 15:00-15:15

パネルディスカッション  
**「すべての子どもの学びを支える授業と学校づくり」**  
 モデレーター  
 広島大学 特別支援教育実践センター長  
**池田 吏志**

閉会挨拶・今後の行事のお知らせ  
 16:20-16:30  
 広島大学 ダイバーシティ&インクルージョン推進副機構長  
**坂田 桐子**

基調講演 Keynote Speaker



リー・アン・ジャング オンライン登壇

サンディエゴ州立大学(アメリカ)  
 臨床教授・Lead Inclusion 創設者

個別最適な学びと協働の学びを  
 統合する多層的支援システム(MTSS)

リー・アン・ジャング博士は、Lead Inclusionの創設者であり、アメリカ教育研究学会の教室評価専門部会の座長も歴任した。これまでインクルーシブ教育に関する10冊の著書と多数の査読付き論文を執筆している。特に研究と実践を結び付ける現場における意義深い取り組みに力を注いでおり、45か国以上の学校においてコンサルティング活動を行ってきた。

Keynote Speaker

1



リム・ヘンフック・レヴァ

シンガポール国立教育研究所・南洋理工大學(シンガポール)  
 心理学・子ども・人間発達部 准教授

教師の専門性とインクルーシブ教育の実現  
 ～多様な学びを支える学校システム～

レヴァ・リム博士は、シンガポールにおいて通常学校および特別支援学校で勤務する教員や教育関係者の養成と資格認定を担う唯一の機関である国立教育研究所に勤務している。研究および教育活動では、障害のある人々のインクルージョンの推進、インクルーシブ教育を支える教員の養成、そして障害のある人々への教育・支援を主なテーマとしている。

Keynote Speaker

2



ハイドルン・デモ

ボツェン・ポルツァーノ自由大学(イタリア)  
 教育学部 教授

イタリアにおけるフルインクルージョンの歩みから学ぶ  
 ～成果、葛藤、そして今後の展望～

ハイドルン・デモ教授は、インクルーシブ教育を専門とし、特に教育制度におけるインクルージョンの在り方やインクルーシブな学校づくり、インクルーシブな授業・指導計画に関する批判的分析を行っている。デモ教授の研究は、教育的公正、参加、学校および教員養成におけるインクルーシブな実践の質に焦点を当て、理論的省察と実証的分析を融合させながら、より包摂的な教育システムの構築に向けた知見を提供している。

Keynote Speaker

3

講演 Speaker



武富 博文

国立特別支援教育総合研究所(日本)  
 研修事業部 統括研究員

小・中・高等学校における  
 特別支援教育の推進と教育課程編成

武富氏は、知的障害教育を専門とし、特にカリキュラム・マネジメントに関する研究に取り組んでいる。特別支援教育に係る教育課程の基準等に関する研究では研究代表を務め、教育課程の編成・実施・評価・改善に関する理論的・実践的知見の蓄積に努めるとともに特別支援教育政策に関する提言を行っている。

Speaker

1



川合 紀宗

広島大学(日本)  
 ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 教授

インクルーシブ教育システムの更なる推進に向けて  
 ～グローバルな課題に対する日本の視点～

川合教授は、特別支援教育、インクルーシブ教育、言語病理学を専門としている。現在の研究では、特に吃音のある子どもを対象に、AIやVRを活用した言語障害児への支援方略の開発に取り組むとともに、アジア地域におけるインクルーシブ教育システム推進のための効果的な政策や実践の検討を行っている。

Speaker

2